

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	ミュージカル
----	----	----	--------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	C区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっばんしゃだんほうじんとうきょうみゅーじかるあんさんぶる 一般社団法人東京ミュージカルアンサンブル	団体ウェブサイトURL https://www.tmetheater.com/
代表者職・氏名	代表理事 半谷邦雄	
制作団体所在地	〒 182-0006 最寄り駅(バス停) 京王線 つつじヶ丘 東京都調布市西つつじヶ丘4-23-47-107	
電話番号	080-8868-6744	
ふりがな 公演団体名	いっばんしゃだんほうじんとうきょうみゅーじかるあんさんぶる 一般社団法人東京ミュージカルアンサンブル	団体ウェブサイトURL https://www.tmetheater.com/
代表者職・氏名	代表理事 半谷邦雄	
公演団体所在地	〒 制作団体と同じ 最寄り駅(バス停) 制作団体と同じ 制作団体と同じ	
制作団体 設立年月	昭和51年 4月	
制作団体組織	役職員 代表理事 半谷邦雄 理事 木俣貞雄 理事 町永義男	団体構成員及び加入条件等 役員 3名 監事 1名 非常勤職員 1名
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名 半谷邦雄
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名 海老澤高美
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	tme.kunio0220@gmail.com	

制作団体沿革	<p>・東京ミュージカルアンサンブルは昭和51年(1976年)に、児童青少年演向けのミュージカル作品を制作・上演する劇団として設立。</p> <p>・歌とダンスと芝居ができる俳優の育成を目標としてきた。上演活動と共にワークショップやミュージカル講座等を積極的に開催。</p> <p>・「石になったかりうど」「歌どろぼうとまほうの笛」「シャムとダラ」で、首都圏小中学校を中心に鑑賞団体や市民会館等で全国公演をおこなってきた。</p> <p>・平成7年、木俣貞雄作・演出「さんしょう太夫」を制作、高い評価を得た。</p> <p>・「さんしょう太夫」は平成16年、日本を代表しての「韓国・2004ソウル児童青少年演公演芸術フェス」招聘公演では、世界各国の児童青少年演劇関係者から絶賛を得た。また韓国の新聞等マスコミに大きく紹介された。</p> <p>・令和3年、木俣貞雄「文化庁長官表彰」。</p> <p>・令和4年、「沖縄・りっかりっかフェスタ」に、木俣貞雄作・演出の「さんしょう太夫」で招聘公演を依頼され、沖縄の俳優等で上演。『児童・青少年演劇ジャーナル げき』の劇評欄で絶賛された。</p> <p>・令和4年、法人名を「一般社団法人東京ミュージカルアンサンブル」に変更。</p>														
学校等における公演実績	<p>首都圏を中心に全国の小中学校での巡回公演を、劇団創立以来の中心事業として、合わせてワークショップ、ミュージカル講座を展開する。</p> <table border="0" data-bbox="384 824 1390 994"> <tr> <td>1976年 「石になったかりうど」 583ステージ</td> <td>小学校 一般公演</td> </tr> <tr> <td>1981年 「歌どろぼうとまほうの笛」 680ステージ</td> <td>小学校 教育委員会 一般公演</td> </tr> <tr> <td>1984年 「石になったかりうど」 174ステージ</td> <td>小学校 鑑賞団体</td> </tr> <tr> <td>1987年 「シャムとダラ」 297ステージ</td> <td>小中学校 鑑賞団体 一般公演</td> </tr> <tr> <td>1992年 「石になったかりうど」 207ステージ</td> <td>小学校 教育委員会</td> </tr> <tr> <td>1995年 「さんしょう太夫」 407ステージ</td> <td>小中学校 鑑賞団体 教育委員会 一般公演</td> </tr> </table> <p>平成7年制作した「さんしょう太夫」は小中学校の演劇教室、教育委員会、鑑賞団体等の公演は400回を超えて、現在も公演中の作品である。</p> <p>コロナ禍で暫く公演を中止していたが令和4年度出演者を変えて再び公演を再開した。</p>			1976年 「石になったかりうど」 583ステージ	小学校 一般公演	1981年 「歌どろぼうとまほうの笛」 680ステージ	小学校 教育委員会 一般公演	1984年 「石になったかりうど」 174ステージ	小学校 鑑賞団体	1987年 「シャムとダラ」 297ステージ	小中学校 鑑賞団体 一般公演	1992年 「石になったかりうど」 207ステージ	小学校 教育委員会	1995年 「さんしょう太夫」 407ステージ	小中学校 鑑賞団体 教育委員会 一般公演
1976年 「石になったかりうど」 583ステージ	小学校 一般公演														
1981年 「歌どろぼうとまほうの笛」 680ステージ	小学校 教育委員会 一般公演														
1984年 「石になったかりうど」 174ステージ	小学校 鑑賞団体														
1987年 「シャムとダラ」 297ステージ	小中学校 鑑賞団体 一般公演														
1992年 「石になったかりうど」 207ステージ	小学校 教育委員会														
1995年 「さんしょう太夫」 407ステージ	小中学校 鑑賞団体 教育委員会 一般公演														
特別支援学校等における公演実績	<ul style="list-style-type: none"> ・1976年、『石になったかりうど』で、北海道立札幌養護学校他で3公演。 ・1981年『歌どろぼうとまほうの笛』で、秋田県内の養護学校で2公演。 ・1987年『シャムとダラ』で、長崎県内の養護学校で3公演。 														
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有													
	※公開資料有の場合URL	https://www.tmetheater.com/													
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	なし												
		PW:	なし												

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般社団法人東京ミュージカルアンサンブル】

対象	小学生(低学年)	○					
	小学生(中学年)	○					
	小学生(高学年)	○					
	中学生	○					
企画名	ミュージカル 説教節より「さんしょう太夫」						
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	「さんしょう太夫」(60分公演) 脚本・演出/木俣貞雄 音楽/あかのたちお 振付/千島 清 美術/森元勝人 照明/田坂晴雄 舞台監督/山本幸三 制作/半谷邦雄				ha 60 分		
著作権、上演権利等の 許諾状況	該当なし		該当コンテンツ名				
	該当事項がある 場合	権利者名	許諾確認状況				
演目概要	「さんしょう太夫」は森鷗外の小説や映画、演劇、人形劇等で度々公演されている古典の名作である。木俣貞雄は原点である説教節に注目し「さんしょう太夫」の脚本を書いた。平成7年演劇教室で幕開け、作品の高評価を得て、その後演劇教室、鑑賞団体、教育委員会、海外公演などで400回を超える公演をしている。姉の死、必死の逃亡、母親と佐渡での再会、「冒険と愛と勇気と奇跡の物語」は時代を超えて語り伝えられ、今だからこそますます上演をする意味がある。						
演目選択理由	令和4年に「沖縄 きっかけフェスタ」に、木俣貞雄作・演出「さんしょう太夫」で招聘公演を依頼され、沖縄の俳優等で上演、絶賛された。『児童・青少年演劇ジャーナル げき』の<劇評欄>で、演劇評論家の今郁義氏は「透き通る比嘉千咲の声と重厚な当銘由亮の声量が客席をシーンとさせる」「日本各地で多くの子どもたち等に鑑賞して欲しい作品」である。この<劇評>を得て、東京でも公演。やはり高い評価を得た。 C区分は小型作品。子どもたちだけではなく保護者にも観ていただき、この作品を選択しました。						
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	本番前に「歌って、踊って、セリフ劇」のミュージカル劇の体験をした子ども達が2つのグループに分かれて、劇中劇「安寿姫 づし王丸」のセリフやとテーマソング「若しも千年生きたら」を輪唱することで「さんしょう太夫」も舞台が始まります。本番が終わったら再度出演者と一緒にテーマソング「若しも千年生きたら」を歌います。ワークショップと同じ出演者がやりますので子ども達も解放され延び延びと劇を楽しむことができます。						
出演者	当銘由亮 比嘉千咲 サトウユウ子(ピアノ演奏)						
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	出演者:	3	名	運搬	積載量:	1	t
	スタッフ:	3	名		車長:	4,7	m
	合計:	6	名		台数:	1	台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間			
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8時 40分	9時	13時		14時	15時
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。						

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月
	0日	0日	0日	5日	10日
	11月	12月	1月	計	40日
	10日	5日	10日		
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	20名
		鑑賞人数目安	150名

さんしょう太夫舞台写真



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	20名
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>(所要時間は60分)</p> <p>①学年の違う子ども達がコミュニケーションワーキングをおこない緊張をほぐします。</p> <p>②次に「さんしょう太夫」の台本の一部、「安寿姫とづし王別れの場面」を声を出して読み合い劇の表現遊びをします。</p> <p>③次はテーマソング「若しも千年生きたら」の歌を二つのグループに分け輪唱します。</p> <p>④最後に成果を発表します。</p>		
ワークショップのねらい	<p>歌って、踊って、声を出してミュージカル劇を体験しよう！</p> <p>ミュージカル劇を見る楽しさを体験して、これから始まるミュージカル劇に関心と興味を持ってもらいます。劇の楽しさは子ども達一人一人の感じ方があって他の教材にはない貴重な体験をします。児童生徒が少ない小規模校や離島・へき地の学校でワークショップを実施しますが先生方と相談して地域または保護者にも呼びかけを行い地域ぐるみのワークショップを行います。下級生も上級生も保護者、地域も一体となって次代に生きる子ども達の成長を応援する地域全体の教育環境に役に立つワークショップです。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>参加児童が少ない場合には学校側と相談して全校児童生徒、保護者が参加していただくようなことを事前に学校と話をします。</p> <p>小規模校、離島やへき地公演が多いので地域ぐるみで地域教育環境にも役に立つようなワークショップにします。</p> <p>「さんしょう太夫」は今のこども達より大先輩の大人達も興味と関心を寄せてもらえる題材です。舞台本番当日には地域の方にも見ていただきたい作品です。</p>		

本事業への申請理由

【公演団体名 一般社団法人東京ミュージカルアンサンブル】

①本事業に対する取り組み姿勢

本事業は離島・へき地等での公演。離島・へき地等にあつては子どもたちが中心。子どもたちを中心として地域の芸術文化の向上・発展に寄与したいという願いをもとに、東京ミュージカルアンサンブルは活動を続けてきました。「さんしょう太夫」は、子どもたちだけではなく地域住民にも観ていただける作品として創りあげました。この作品を通して、子どもたちを中心とした地域の芸術文化の交流場として臨みたいと考えます。会場条件(キャパシティー)が許す限り、地域住民の方にも観ていただきたいと考えています。

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

離島・へき地・小規模校が対象ですので移動経路によっては船の運搬、交通経路、体育館搬入口、電源の容量等事前に学校を訪問してそれらの問題解決に丁寧に準備します。大道具・小道具も簡素化コンパクトの舞台になっていますので移動経費はかなり抑えることができます。またワークショップと本公演を同時開催することで派遣費用は大幅に削減できます。

本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実施
するための工夫

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名 一般社団法人東京ミュージカルアンサンブル】

<p>C区分で事業を実施するに当たっての工夫</p>	<p>① 離島・へき地等における公演実績</p> <p>(沖縄県) 宜野座村 今帰仁村 (鹿児島県) 与論町 種子島町 屋久島町 (長崎県) 五島市</p> <p>② 離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫</p> <p>*1日の中でワークショップと実演をやるので当日出演者がワークショップも行います。ワークショップは長時間確保は難しい中で児童生徒がミュージカル劇を見る楽しさと体験をしてもらいます。</p> <p>*児童生徒数が少ない学校ではワークショップの参加者は全児童生徒数が同じ体験を勧めます。</p> <p>*声を出す、歌、ダンスとミュージカル劇の体験は年齢で表現差が出ますが大きい子は小さい子を助けたりワークショップをすることで一体感が深まる楽しさが実感できるワークショップにします。</p> <p>③ C区分申請における小規模な公演の観点から実施する経費削減等についての工夫</p> <p>*コンパクトの舞台となっていますので、出演者やスタッフなど構成人数を必要最低限にし舞台の荷物運車両もワゴン車を使用しますので経費が押さえられます。 移動困難地域に対しワークショップと本公演を同日に開催することで経費の削減にもつながります。</p>
----------------------------	--